

川崎市市制 100 周年記念事業基本計画

Colors, Future! Actions ガイド (案)



川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

「Colors, Future! Actions ガイド（川崎市市制 100 周年記念事業基本計画）」（以下「本ガイド」という）は、令和 6（2024）年 7 月 1 日に迎える市制 100 周年という歴史的な節目に向けて、さまざまな企業、団体、市等で構成される「川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」が策定しました。

記念事業を一過性のイベントとせず、「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとするため、本ガイドにおいて、記念事業のコンセプトや展開などの記念事業の概要をオール川崎市で共有していきます。

本ガイドに基づき、さまざまな主体が主役となる記念事業の検討が始まります。これから実行委員会において、主催事業を企画していくとともに、各主体が検討した事業の募集を行っていきます。皆さま一人ひとりの想いや夢をぜひ事業として提案してください。皆さまの事業をつなぎ、かけ合わせ、多様で多彩な事業を生み出して、一緒に市制 100 周年から始まる「あたらしい川崎」をつくっていきましょう。

目次

1 記念事業の概要

- (1) 記念事業のコンセプト
- (2) 記念事業のプラットフォーム・ステートメント
- (3) 記念事業プラットフォームのロゴマーク
- (4) 記念事業の展開
 - ① 「Colors, Future! Actions」取組イメージ
 - ② 15 の Action テーマ（ラベリング）
 - ③ Action テーマ使用（取組推進）イメージ
- (5) 実施期間
- (6) 時期ごとの目的・事業
- (7) 記念事業構成
- (8) 全国都市緑化かわさきフェア

2 記念事業の実施体制・スケジュール

- (1) 実施体制
- (2) 基本方針
- (3) 広報計画・協賛計画
- (4) スケジュール

参考 川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会の設立について

1 記念事業の概要

(1) 記念事業のコンセプト

記念事業のコンセプトを川崎市ブランドメッセージ「Colors,Future! いろいろって、未来。」とします。ブランドメッセージ「Colors,Future! いろいろって、未来。」の実行による未来の可能性の場づくりをしていくことで、さまざまな活動や価値が生まれ、この先 100 年に向けた川崎市の成長の機会にします。

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

市制 100 周年という歴史的な節目を「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとするために、川崎市ブランドメッセージに込められた「多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力や価値を生み出すことができるまちを目指していく」という意味を、「多様性」を可能性にして発展してきた本市の歴史を振り返りながら、改めて共有し、記念事業として、次の 100 年に向けた、さまざまな主体による多様なアクションが生まれていく活動の場をつくっていきます。記念事業で生まれた新たな活動や価値から川崎の文化や未来をつくりだし、この先 100 年に向けた川崎市の成長の機会にしていきます。

(2) 記念事業のプラットフォーム・ステートメント

記念事業プラットフォーム：「Colors,Future! Actions」

Colors, Future! Actions

川崎のどんなところが好きですか。

お気に入りの場所。ほっとするまちの仲間。
ひとりひとりの“好き”をつなぎ、かけ合わせて、
いっしょに川崎を育てていこう。

このまちに暮らし、このまちを発展させてきた
たくさんの人たちに感謝を抱きながら、
あたらしい川崎を未来の人たちへとつないでいこう。

いろいろな人たちが集まる川崎だからこそ、
多様で多彩なアクションを、つぎつぎと。

100年目の川崎市ではじまる Colors, Future! Actions。
“好き”があふれるまちづくりを、さあいっしょに。

記念事業のコンセプト「Colors,Future! いろいろって、未来。」を具現化する場の設定や活動を記念事業プラットフォーム「Colors,Future! Actions」と総称して、市民一人ひとり・企業・団体等が自由に参加できる活動の場を設けます。市内のさまざまな主体が重なりあい、つながりあいながら、記念事業を「Action」として展開していくことで、市制100周年からはじまる「あたらしい川崎」を生み出していく活動の場とします。

(3) 記念事業プラットフォームのロゴマーク



記念事業プラットフォーム「Colors,Future! Actions」のロゴマークを制作し、記念事業のシンボルとして広く PR します。

(4) 記念事業の展開

① 「Colors, Future! Actions」 取組イメージ

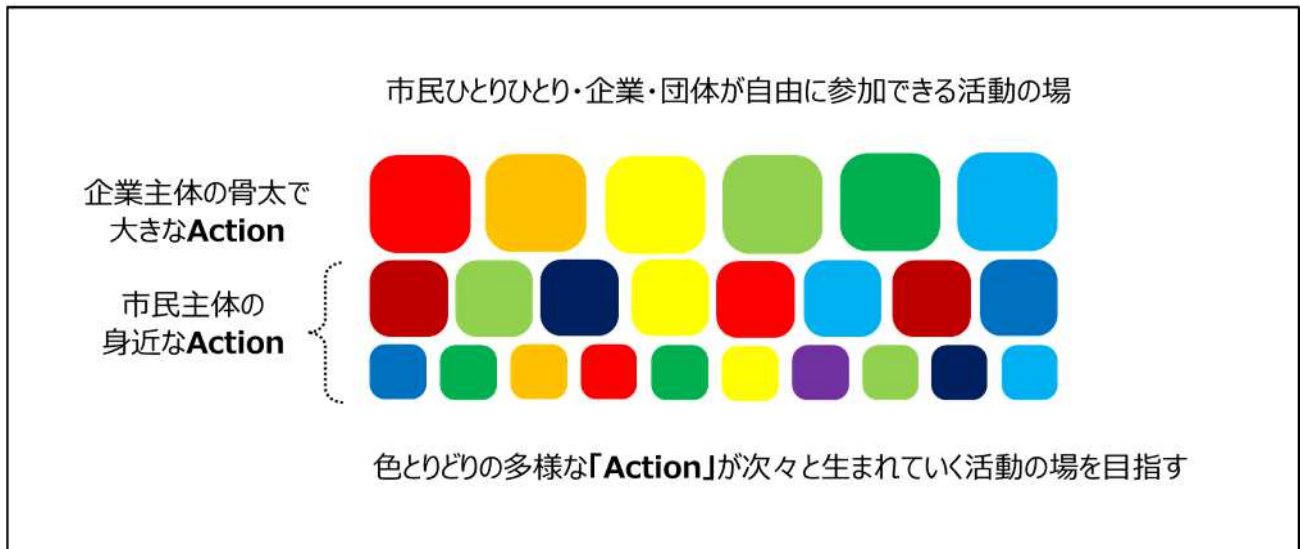
記念事業は、市内のさまざまな主体が、既存の取組も含め記念事業のコンセプトを踏まえた多様で多彩な「Action」を展開していきます。

市制100周年記念事業プラットフォーム

【川崎市の未来を構想し、実現へと共創する活動の場】

Colors, Future! Actions

一人ひとりの“好き”をかけ合わせることで、いっしょにあたらしい川崎をつくっていく



[実行委員会][市][市民等]
の様々な主体が連携しながら多
様で多彩なActionを創出する

実行委員会

市民等(パートナー)

川崎市(各局区)

② 15のActionテーマ(ラベリング)

「Colors,Future! Actions」に関わるさまざまな主体が、「より川崎がよくなる」「より川崎を好きになる」ことにつながる取組として、自分ならどんなActionができそうか企画・検討しやすくするために、「より川崎をよくする」取組の“目印”を15個示して、「Actionテーマ」として設定します。

COLORS, FUTURE! ACTIONS

KAWASAKI 100th

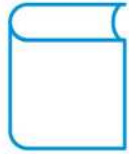




ACTION 01

グリーン・コミュニティ

みどりを増やすのみならず、みどりと人の多様で新しい関係づくり。都市環境整備の活動など。



ACTION 02

ブランディング

川崎ブランドを伝えるメディアの開発や、新たなスーベニアの開発など。



ACTION 03

ビジネス・インキュベーション

企業支援・研究開発（スタートアップ支援・量子コンピューターネイティブの育成など）



ACTION 04

ネクストジェネレーション

ブレイキンやBMX、スケートボードなど若者文化を広める活動や、若者のアクションを応援する活動。



ACTION 05

名物フード

ダイバーシティを体現するソウルフードの開発。フードロスアクションの推進など。



ACTION 06

チアアップ

シニア・健康・子育てなどを応援する活動。



ACTION 07

ナイトタイムエコノミー

ナイトマルシェの開催や、夜でも安全に楽しめるパークの整備など。



ACTION 08

サステイナブル

環境・臨海部に関する活動。脱炭素の取り組みや循環型の持続可能なまちづくりに関する取り組み。環境技術など。



ACTION 09

イベント・祭

フェスの開催や、地産地消マルシェの推進、ハロウィンに続くシンボルイベントの創出など。



ACTION 10

Well-being

健康福祉。コミュニティへの参加や憩いの場の創出など。



ACTION 11

グローバル

インバウンド向けの情報発信、コト消費の開発、
在住外国人との交流支援など。



ACTION 12

アート&ミュージック

文化・音楽に関する活動全般。アートのDX推進。
新たな表現スペースの創出など。



ACTION 13

スポーツ

サッカーやバスケットをはじめとする、スポーツに関
わるもの全て。



ACTION 14

学び

まちの歴史探求や工場見学といった学び体験や
コンテンツなど。



ACTION 15

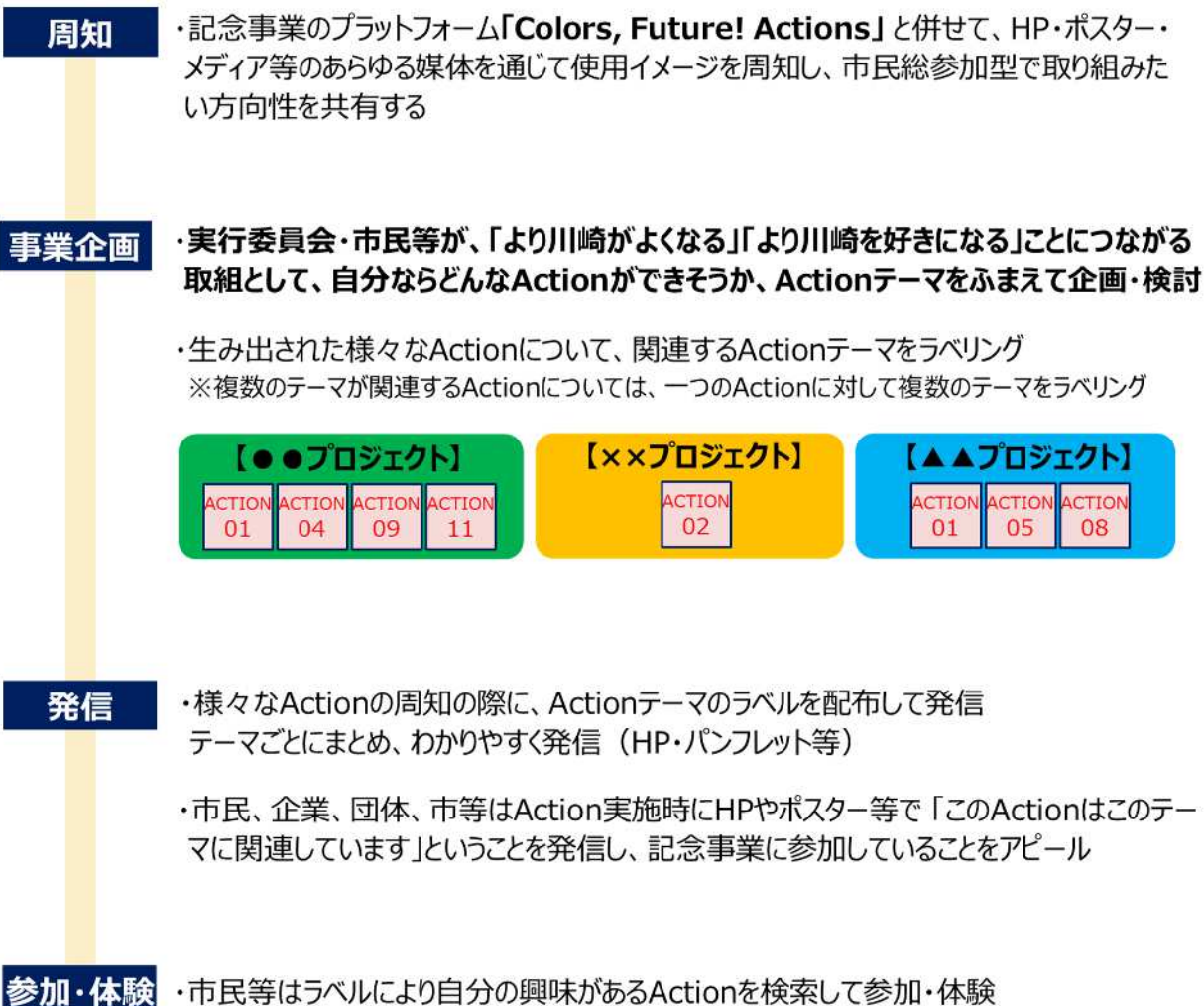
安全・安心

防犯や地域の見守り、災害への備えといった安
全・安心のまちかわさきへの取り組みなど。

③ Action テーマ使用（取組推進）イメージ

生み出されたさまざまな Action に関連する Action テーマのラベル（複数の選択が可）を実行委員会から市民、企業、団体、市等に配布し、テーマごとにまとめて、実行委員会ホームページ等で分かりやすく発信します。また、市民、企業、団体、市等は、Action 実施時の各種広報においてテーマのラベルを使用すること等ができます。

なお、市民等はラベルにより自分の興味がある Action を検索して、参加・体験することができます。



(5) 実施期間

記念事業期間：令和6（2024）年4月1日～令和7（2025）年3月31日

記念事業は、市制100周年の市制記念日を含む年度である令和6（2024）年4月1日から、令和7（2025）年3月31日にかけて実施します。

それ以前についても、準備期間として、市制100周年に向けて市全体の機運を高めるためのPR事業等の実施や記念事業に向けたさまざまな活動等をします。

(6) 時期ごとの目的・事業

記念事業期間の令和6（2024）年度だけではなく、それ以前の準備期間からも市制100周年に向けた各取組を通して、川崎市に関わる多くの方に「川崎を知って」→「記念事業に関わって、つながって」→「川崎を好きになって」いただくために、期間ごとに目的を示して事業等を展開します。

そして、記念事業の中で生まれたAction（行動）が、一過性ではなく、川崎の文化として次の100年根付いていくようなしくみや仕掛けを検討します。

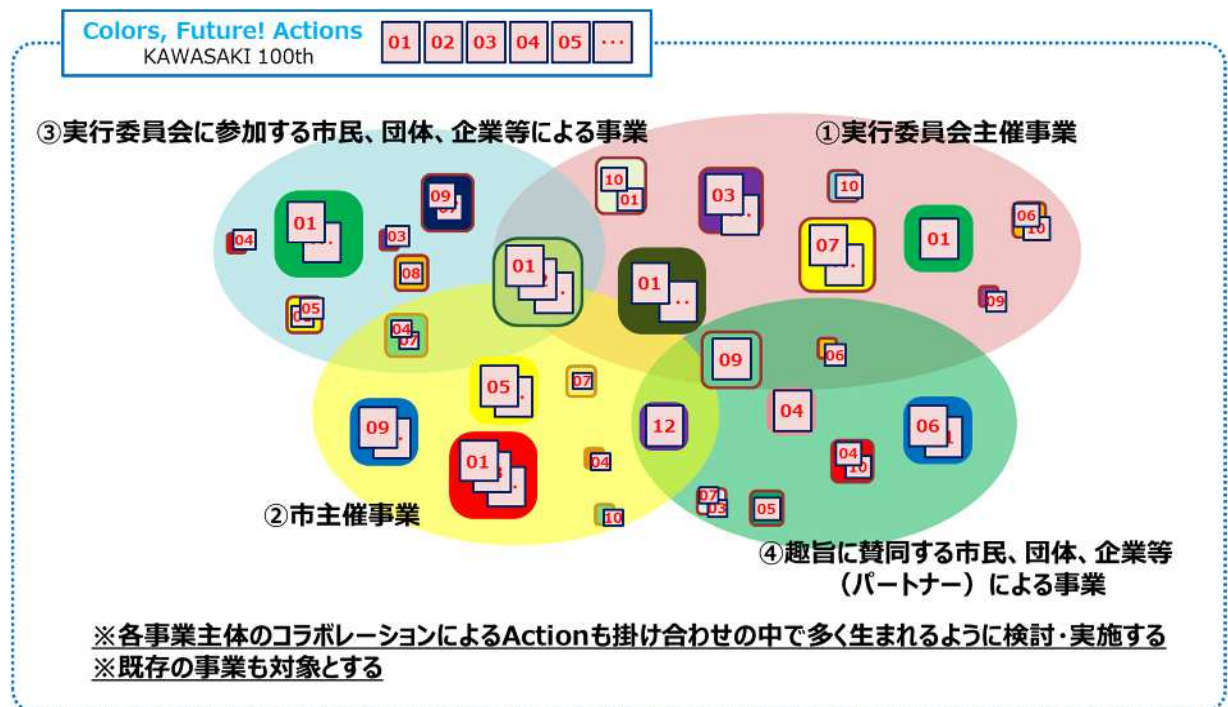
	準備期間 (令和5(2023)年度)	記念事業期間 (令和6(2024)年度)
目的	「川崎を知ろう」	「記念事業に関わって」 →「川崎を好きになろう」
PR事業	記念事業に多くの市民が参加や参画してもらえるように、またオール川崎市で市制100周年を祝うことができるように「令和6年度に川崎市が市制100周年を迎えること、迎えるにあたっての想い」を広く周知するPRを中心に実施	「令和6年度に川崎市が市制100周年を迎えること、迎えるにあたっての想い」を広く周知するPRとともに、多彩なActionの取組を広報し、記念事業に関わってもらうPRを実施
Action	令和6年度の記念事業実施に向けて先導していくAction (単発事業・イベントではなく、翌年度にむけて熱量をあげていくAction)	記念事業のコンセプトを踏まえた多彩なAction

(7) 記念事業構成

記念事業は、実行委員会が実施する①実行委員会主催事業、市が実施する②市主催事業、③実行委員会に参加する市民、団体、企業等による事業、④趣旨に賛同する市民、団体、企業等（パートナー）による事業で構成されます。

既存の事業も対象とし、各事業主体のコラボレーションによる Action も掛け合わせの中で多く生まれるように検討・実施します。

事業構成イメージ



実行委員会ホームページの開設後、各主体が検討した事業の募集を次のとおり行っていきます。皆さままでどんな Action ができそうか企画・検討していただき、一人ひとりの想いや夢をぜひ事業として提案してください。

今後の事業募集のスケジュール（予定）

- ・令和4（2022）年10月頃～12月頃 事業提案の募集
⇒令和5年（2023）年3月策定の実施計画に反映
- ・令和5（2023）年7月頃～12月頃 事業提案の募集
⇒令和6年（2024）年3月の実施計画改定に反映
- ・令和6年（2024）年4月以降も記念事業期間内は随時事業提案の受付を行い、実施計画に追加

(8) 全国都市緑化かわさきフェア

市制 100 周年記念の象徴的事業として、全国都市緑化かわさきフェアを開催します。

全国都市緑化フェアは、都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として開催するもので、全国各地で巡回して開催されています。

本市では、市制 100 周年の節目を迎える令和 6（2024）年度に、全国都市緑化フェアの開催を目指して誘致に取り組み、令和 4（2022）年 1 月に国土交通大臣の同意を得て開催が決定しました。

令和 6 年度のかわさきフェア開催に向けて、令和 3（2021）年度に基本計画骨子を策定するとともに、令和 5（2023）年度に基本・実施計画を策定します。

全国都市緑化かわさきフェアでは、みどりが持つポテンシャルを効果的に活用し、これまで培ってきた川崎の強みや各地域の特色を活かしながら、各分野の取組と連携して、多様な主体がつながり、行動するきっかけとする市民総参加型のフェアとなるよう、フェア開催以降にもつながる様々な取組を、フェア開催前から展開していきます。

- 名 称 第 41 回 全国都市緑化かわさきフェア
- 主催者等 主催者 : 川崎市、公益財団法人都市緑化機構
実施主体 : 市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
- 開催期間 令和 6(2024)年 10 月中旬～11 月上旬／令和 7(2025)年 3 月上旬～3 月下旬
(日程の詳細については要調整)
- 会 場 コア会場 : 富士見公園、等々力緑地、生田緑地
協賛・連携会場等 : 駅、商業施設、民有空地、区役所、緑化推進重点地区、公園緑地、
バーチャル会場 など
- 統一主題 「みどりで、つなげる。みんなが、つながる」
- 愛 称 「Green For All KAWASAKI 2024」
- シンボルマーク

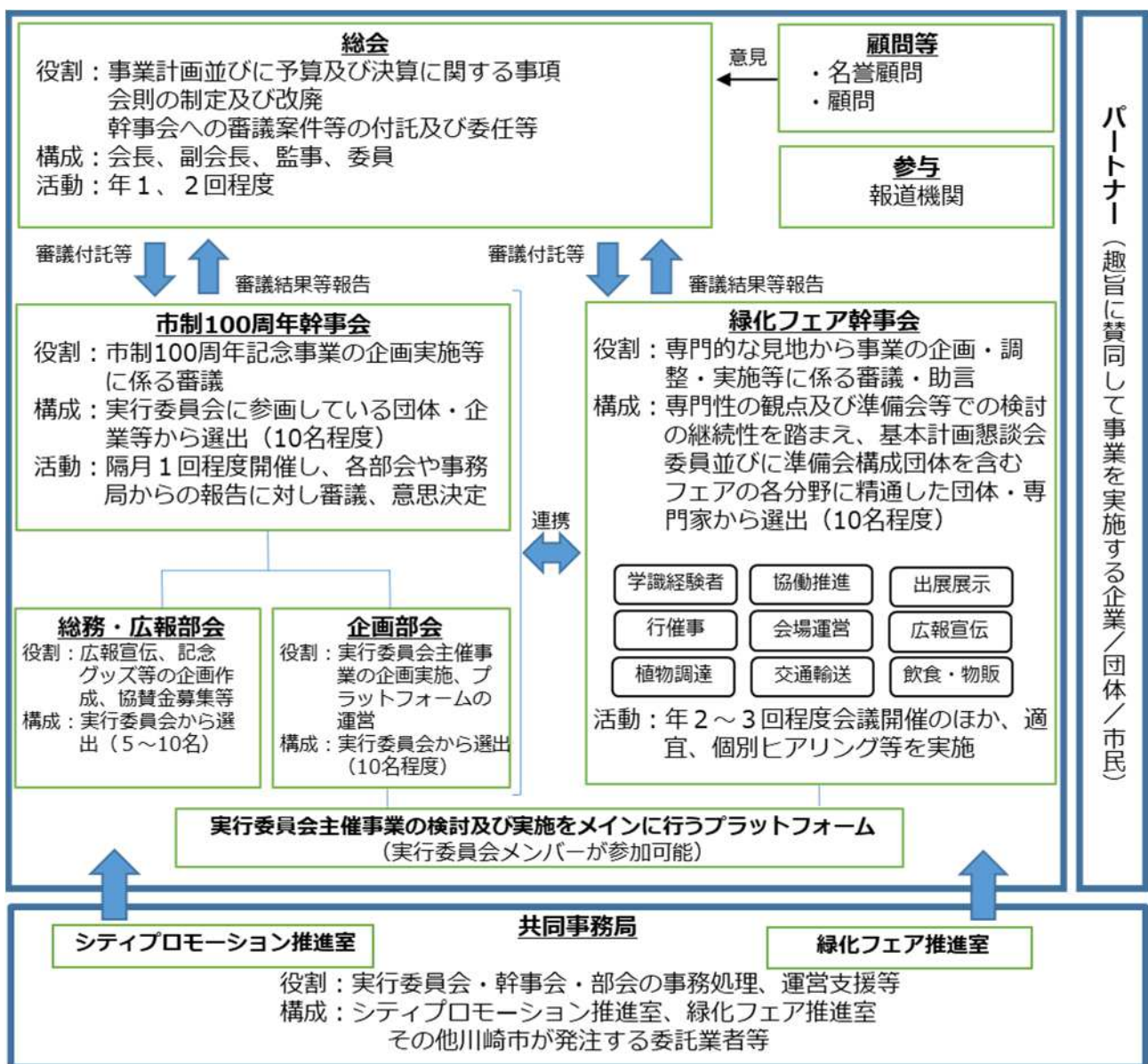
「Colors,Future! Actions」の取組の一つである「Green For All」を表現するため、みどりをツールに、人と人、人と暮らしが緩やかにつながっていく様子を、区の数である 7 枚の葉を重ね、市民の活動（アクション）がさらに広がっていくイメージを、多彩な色でロゴ全体を花に見たてて表現。



2 記念事業の実施体制・スケジュール

(1) 実施体制

記念事業は、令和6（2024）年度に開催する「全国都市緑化かわさきフェア」を象徴的な事業として、一体的な展開を図っていくため、緑化フェアと合同の「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を設立し、推進します。また、実行委員会の活動の意義を伝え、記念事業及び緑化フェアの趣旨に賛同する市民等を巻き込む仕組みとして、実行委員会にパートナー制度を創設し、さまざまな主体の皆さまと連携・協力しながら記念事業を展開します。



(2) 基本方針

令和4（2022）年3月に川崎市が策定した「川崎市市制100周年記念事業の基本的な考え方」に基づき、記念事業の実施に向けた取組の基本方針を次のとおり定め、記念事業で生まれた新たな活動や価値から川崎の文化や未来をつくりだし、この先100年に向けた川崎市の成長の機会にしていきます。

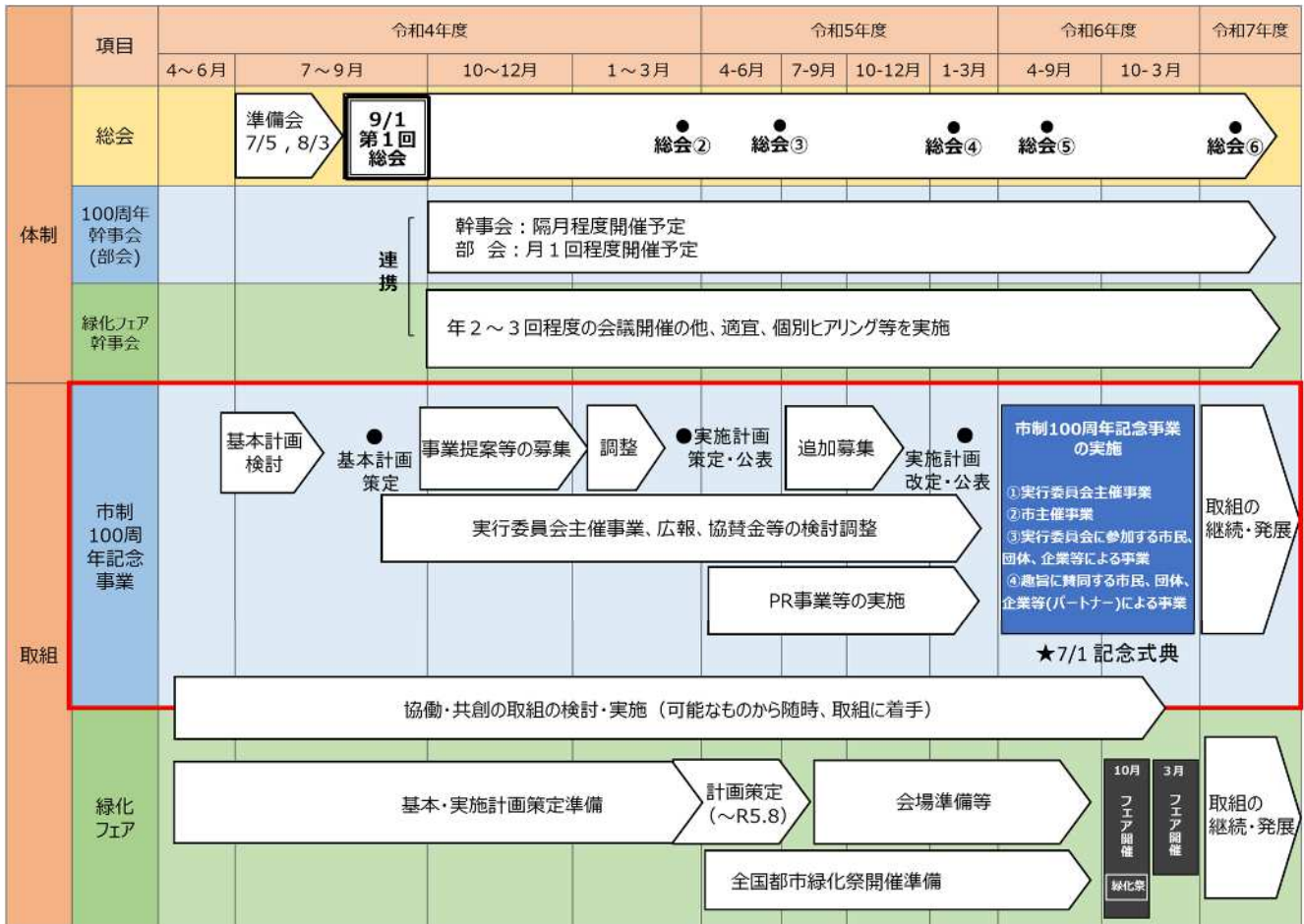
- ① 川崎市ブランドメッセージへの共感を喚起する。
- ② 新たな100年に向けて、文化として根付くムーブメントを起こす。
- ③ 市民一人ひとりのシビックプライドを醸成する。

(3) 広報計画・協賛計画

実行委員会総務・広報部会と緑化フェア幹事会が連携して検討し、実施計画に反映します。

(4) スケジュール

実施計画策定に向けて、実行委員会から事業提案等の募集を行い、実施計画に反映します。令和5(2023)年3月の実施計画策定・公表後も、追加事業を募集し、ローリングをして、令和6(2024)年3月頃に実施計画を改定・公表します。また、その後も随時、追加事業の受付を行い、実施計画の事業一覧に追加します。



参考 川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会の設立について

○設立趣旨

川崎市は、大正 13（1924）年に川崎町と大師町、御幸村の 2 町 1 村の合併により市制が施行して以来、令和 6（2024）年 7 月 1 日に市制 100 周年を迎えます。

人口約 5 万人から始まった本市は、政令指定都市として 6 番目の人口を擁する大都市へと成長しました。京浜臨海部の一翼を担う工業都市としての発展を経て、現在では、多くの先端産業が集積するとともに、音楽・スポーツ・文化など多彩な魅力を有する活力ある都市として、今なお成長を続けています。

市制 100 周年という歴史的な節目に、先人の努力や功績に感謝し、時代とともに変貌してきた川崎市のこれまでのあゆみや歴史・文化を知り、川崎市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有し、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とするとともに、将来にわたって、誰もが暮らしやすい笑顔あふれる「最幸のまち」へとつなげていくため、この契機を未来に向けた活力ある「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとしていきます。

また、市制 100 周年の象徴的な事業として、都市緑化を全国的に推進し、緑豊かな潤いある都市づくりに寄与することを目的とした、花と緑の祭典である全国都市緑化フェアを令和 6（2024）年度に川崎市で開催します。

かわさきフェアでは、これまでのみどりの歴史や強み等を振り返りながら、みどりについて一緒に考え、行動することで、新たなみどりの文化を醸成し、だれもが住み続けたいまちへとつなげていくための大きなチャンスであると捉え、川崎らしいみどりを全国に向けて発信していきます。

令和 6（2024）年に迎える市制 100 周年及び全国都市緑化かわさきフェアの開催に向けて川崎市全体を盛り上げるため、そして市制 100 周年記念事業及び全国都市緑化かわさきフェアを一過性のイベントとしないため、さらには「あたらしい川崎」を生み出していくため、さまざまな主体が垣根を越えて力を掛け合わせ、市民、企業、団体、市等によるオール川崎市で取組を推進し、多彩な記念事業を展開していきます。

この市制 100 周年記念事業及びかわさきフェアの円滑な実施及び運営を図り、一体的に推進していくため、ここに、「川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を設立します。

川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
会長 福田 紀彦

川崎市市制 100 周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局

(川崎市総務企画局シティプロモーション推進室内)

電話 044-200-1215、1216

Eメール 17skinen@city.kawasaki.jp